



# 久米島町立学校等適正規模・適正配置検討状況について



## ■ 従来の小・中学校と近年の学校形態について

従来は「小学校」と「中学校」が完全に独立していましたが、現在は接続の課題（中 1 ギャップなど）を解消するため、以下のような新しい学校形態が増加しています。

それぞれの特徴を説明します。

### <従来型>

従来の小学校・中学校は、戦後の教育制度（いわゆる 6・3 制）で確立されたスタイルです。小学校は「学級担任制」による学習指導、中学校は「教科担任制」による専門的な学習へと移行する仕組みが特徴です。

#### ○小学校 修業年限 6 年間

指導体制は、学級担任制（1 人の教師がほぼ全教科を教えることで、生活指導や学習の基礎をきめ細かくサポートする）。目的は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことです。

#### ○中学校 修業年限 3 年間

指導体制は、教科担任制（国語、数学など教科ごとに専門の教師が教える）。目的は、小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、中等普通教育を施すことです。

### <近年の変化（現在）>

従来は「小学校」と「中学校」が完全に独立していましたが、小中接続の課題（中 1 ギャップなど）を解消するため、次のような新しい学校形態もあります。

#### ○小中一貫型小学校・中学校

施設やカリキュラムを共有し、9 年間を通じて一貫した教育を行います。

#### ○義務教育学校

小・中の区切り（6 年・3 年）をなくし、1 つの学校として柔軟な教育課程（4・3・2 制など）を編成する学校教育を行います。

### 小中連携教育

小・中学校段階の教職員が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育

#### 小中一貫教育

小中連携教育のうち、小・中学校段階の教職員が、目指すことも像を共有するとともに、9 年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育

#### 小中一貫型小学校・中学校

組織上独立した小学校及び中学校が一貫した教育を施す形態で、それぞれに校長、教職員組織を有する学校

#### 義務教育学校

一人の校長の下、一つの教職員組織が置かれ、義務教育 9 年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施する学校

いずれの学校も施設の形態（分離型、隣接型、一体型）は問わない

子どもたちの学びの保障することを目的とした学校適正規模・適正配置の取組において、今後、新たな学校形態も含め検討していく予定です。

お問い合わせ 教育委員会 ☎985-2287